想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA

News Release

2026 年 10 月 22 日
株式会社竹中工務店

# 耐火集成材「燃エンウッド®」の民間建築工事向けライセンス提供を開始
## 木造・木質建築の普及拡大による脱炭素社会の実現に貢献

竹中工務店（社長：丁野成人）は、当社保有の特許技術である耐火集成材「燃エンウッド®」（1 時間／2 時間耐火仕様）について、2026 年 10 月より民間工事における技術のライセンス提供を開始します。

本取り組みにより、木造の耐火建築物に関する知見と実績を有する設計事務所※1 が設計し、当社以外が施工を担う建物において、公共建築・民間建築を問わず「燃エンウッド」および関連する特許技術の使用が可能となります。

当社はこれまで、公共建築工事における「燃エンウッド」の製造・販売ライセンスについて、1 時間耐火仕様は 2017～2019 年に、2 時間耐火仕様は 2024 年に、集成材メーカー 4 社※2 と契約を締結し、木造・木質建築の普及拡大に向けてライセンス展開を行い、実プロジェクトへの適用を進めてきました。

現在、公共建築工事においては、「燃エンウッド」（1 時間／2 時間耐火仕様）を採用することで、14 階建て、もしくは建物の最上階から 14 層までを木造とする建物への適用が可能です。

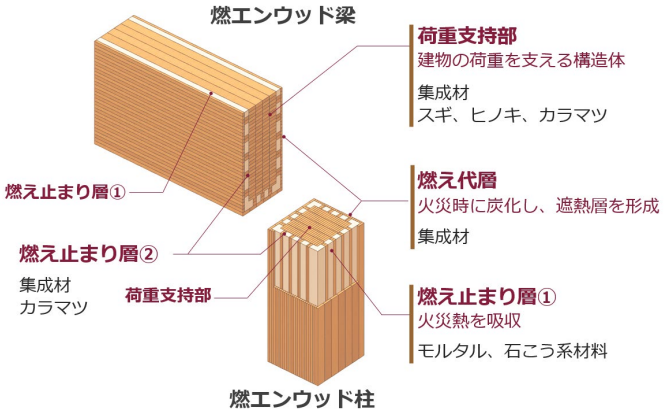
このたびの民間工事へのオープン化により、公共建築にとどまらず、民間のオフィス・商業施設・複合ビルなど幅広い建築物において本技術の採用が可能となります。当社は今後も、木造・木質建築の一層の普及、および国産木材のさらなる活用を推進し、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※1：設計事務所は木造の耐火建築物の設計の実績を有すること、また、その設計事務所のもとで連携する施工会社であることの確認が必要となります。
※2：齋藤木材工業（株）、藤寿産業（株）、銘建工業（株）、山佐木材（株）

■燃エンウッドの概要

「燃エンウッド」は、木材の「荷重支持部」、モルタルや石こう系材料と木で構成された「燃え止まり層」、木材の「燃え代層」の 3 層で構成される耐火集成材です。

火災が生じた場合、断熱効果（燃え代層）と吸熱効果（燃え止まり層）により柱・梁（荷重支持部）を火災の熱から守ります。



想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA

■提供するライセンスの範囲

・ 竹中工務店が所有する耐火集成材「燃エンウッド」に関する特許技術の使用
・ 竹中工務店が所有する耐火集成材「燃エンウッド」に関する大臣認定の利用
・ 竹中工務店が所有する商標「燃エンウッド®」の使用

※燃エンウッドは株式会社竹中工務店の商標です。

**燃エンウッドの製造・販売に関する問い合わせ先**

| | | |
|---|---|---|
| 齋藤木材工業株式会社 | 建築部 | 0268-68-3811 |
| 藤寿産業株式会社 | 営業部 | 024-944-7550 |
| 銘建工業株式会社 | 木質構造事業部 | 03-5801-9857（東京） |
| 山佐木材株式会社 | 営業部 | 0994-31-4141 |

関連リリース

耐火集成木材「燃エンウッド®」（2 時間耐火仕様）～製造・販売ライセンス契約を締結～（2024.8.1）

耐火集成木材「燃エンウッド®」～公共工事における製造・販売のライセンス契約を年内に締結～（2016.12.7）